

あふれる情報、真実は？

鹿児島県労働委員会
労働者委員 村屋 高広

急速に携帯電話の普及率も向上し、様々な情報が簡単に手に入る時代になった。私が就職した34年前も自動車電話や携帯電話は存在しましたが、一般庶民には高価で手の届かない存在でした。また、昔の携帯電話は持ち運び可能でも大きく重たいもので、かなり不便だった記憶があります。

しかし、そこからあつという間に通話料金は高い状況でも、手軽に持ち運びができる携帯電話（アナログ）が登場し、私自身も生活が楽なわけではありませんでしたが便利のため購入しました。当時の記憶では使うより持っていることに憧れて購入したような気がします。

様々な情報がありますが、携帯電話の保有率は単身世帯ではスマートフォン64.1%、従来型携帯電話27.2%。二人以上世帯ではスマートフォン84.4%、従来型携帯電話36.9%というデータもあり、かなりの普及率である。また、私のいる職場でも業務用の携帯電話が外務社員には貸与されており、スマホとガラケーの組み合わせで複数台所有する方も増えています。

携帯電話でどこに居ても情報を検索することができ、非常に便利な時代になったと思いますが、情報が多すぎてどれが真実なのか複雑になっている気がします。検索したい項目を入力し検索すると、同じ項目でもかなり多くの情報が出てきます。内容も情報の発信元でそれぞれ違っており、多くの情報の中から自分でどれが正しいのか判断がつかないものが多いです。何が真実か見極めるのは至難の業とも言える状況で、情報を見た方によって十人十色でとらえ方もあり、これが正しいとは決められない情報が溢れています。

最近の採用された社員にも聞いてみましたが、情報が真実かどうかということを求めているのではなく、一応参考のために検索し、自分に必要な情報であれば活用する。情報が真実かどうかは関係ないと言われました。正しい情報が何らかの操作を加えられ誤った情報を故意に提供されたとしたら、間違った情報でもそのまま活用することになるということです。この話を聞いてかなり怖い状況だと感じました。

私自身もスマートフォンを使って情報を検索することは毎日あります。様々な情報の中から真実を見極めることはかなり難しいと感じています。今まで生きてきた人生の経験から学んだ知識で見極めるしかないのが現実です。迷った時には大先輩に意見を聞いて判断することもあります。例えば、情報操作された誤った情報を見抜くことはなかなかできないと思います。最近、よく相談する大先輩に言われたのは、携帯電話からの情報だけでなく多くの書籍を読むことを進められました。活字離れが自分の中でも進んでいることをあらためて気づかされた一言でした。

生きていく中で様々な情報は必要です。しかし、必要以上に出てくる情報は、多くの選択

肢を与えてくれるように見えますが、実際はどれを選択すればいいのか混乱するだけで、物事を複雑にしているように感じます。

人生100年時代に、自分なりに必要な正しいと言える情報だけを取捨選択できるよう、見聞を広めることに努めていきたいと思います。